令和3年度 第2回太宰府市障害者施策推進協議会 議事録（要約）

○日時

令和3年10月25日（月）18:30～19:20

○場所

プラム・カルコア太宰府4階多目的ホール

○協議事項

議題1 第1回協議会（書面開催）における委員意見について

○内容

■事務局あいさつ

■交替委員の紹介

■配布資料の確認

■議事

「太宰府市障害者施策推進協議会規則」第6条に基づき、議事進行を会長が行う。

第1回協議会（書面開催）における委員意見について

説明

事務局）（配布資料「委員意見と回答」の内容について抜粋して説明）

意見

委員）

社会資源マップについて、市役所に来た方がまず目に触れていただけるようにしてもらいたいです。もったいないと思います。窓口に一冊でも置いてあれば、見た人が活用したいと思ってくれるかもしれません。

委員）

障がい者雇用について、今までは中小企業が物づくりなどにおいて、障がい者が就労できる仕事内容がたくさんあったと思います。それが物づくりや手作業が少なくなり、障がい者雇用という中小企業が自然に担ってきたものができなくなってきたために、障がい者雇用率が下がってきていると思います。

しかし太宰府の地場においても、今どこも人手不足となっています。実際に仕事がニーズとしてあるので、障がいをお持ちの方がマッチングできるような体制が将来的にできたらいいと思うので、市内の事業所等にアンケートを実施する際に内容を充実していただけるような検討をしてもらいたいです。

単純な作業を福祉事業所に委託することで人は雇わなくても外注できる。市内にある福祉事業所が「それだったらうちできますよ」ということが市内でできることが大事だと思います。

それと事業所の障がいへの理解が必要です。身体障がいは目に見えやすいところがあるけど、精神障がいや発達障がいはなかなか理解されにくいところがあるので、地域の事業所との交流会などで実際にふれることで理解ができていくのだらうと思います。雇いたいけど、どうしていいか分からないという事業所側の悩みもあると思うので、市が介在してもらえれば、市内の事業所と福祉事業所とのマッチングができるのではと思います。

終了